



vol.14

一般社団法人中目黒駅周辺
地区エリアマネジメント
事務局長

おつかたけし
大塚 剛 さん

出会う人とのつながりを
大切にしていきたい

プロフィール

中目黒駅周辺地区街づくり協議会を母体として発足したまちづくり会社、一般社団法人中目黒駅周辺地区エリアマネジメント(以下、NAM)の設立者。令和2年に設立し、目黒川船入場でイベントを行うなど、中目黒のまちづくり活動を行っている。



▲NAMHP



▲NAM・東京都市大学・鳶屋書店で連携したプロジェクト

住民・企業・来訪者をつなげるNAM

「NAMは、中目黒の環境美化、出会い・賑わい創出などを目指し、さまざまな立場の人たちが一緒になって、まちづくり活動を進めていく組織です。これまで船入場など中目黒駅周辺で、地元飲食店等によるキッチンカーでの販売や、地元のお店の出店などを手伝って、出店者や来場者が出会い、つながれる機会を作ってきました」と大塚さん。

こうした活動の原動力には、大塚さんのこれまでの経験が影響しているという。「小さいときから地域のお祭りなどで、みこしを担いだりして、地域活動が身近だったんです。目黒区に住んでみて、地域をもっと盛り上げたい、もっと人と人がつながれる楽しいまちにしたいという思いで、さまざまなイベントを考えています」。

悩んでいるなら、一度やってみる

活動は最初から順調だったわけではない。大塚さんは「はじめは、活動に反対されるかたもいて、悩んだときもありました。でも悩んでいるなら一度やってみて、僕たちのやりたいことを見てもらおうと思ったんです。やってみたら反対しているかたも変わるかもしれないな」。

この思いで、初めて実証実験として選んだのが3年前の目黒シティラン。「多くのかたがマラソンに参加しますが、終わったらすぐ帰ってしまうんです。もっと楽しんでほしいという思いで、マラソン後に、目黒川船入場で地域団体によるステージや地元飲食店の出店、地元企業のグッズプレゼントなどを企画しました。実際にやってみると、やりたかったことを具体的にイメージしてもらいやすくなり、賛同してくださるかたが増えました。参加者・商店・企業の3つをつなげることができ、ものすごい手ごたえを感じました」。

人がつながれるまちを、これからも

中目黒のまちづくりの活動はどんどん広がりを見せている。「4月から東京都市大学と中目黒駅高架下の鳶屋書店と連携し、なかなか中目黒というローカルメディアや、書店の一角に地元の良品をPR販売する、中目黒タウンセンターを開設し、中目黒ならではの情報発信を行っています。中目黒ではこんな面白いものがあったり、作ったりしていますということを発信したいと思っています。10月1・2日(雨天時は10月15・16日に延期)には、実証実験として目黒川の区道を活用した地域の憩いの場づくりも考えています。まちづくりで何か気になることや、やりたいことがあれば相談してほしいです。NAMは、地域をつなげるパイプ役でもあるんです」と大塚さんは笑顔で語ってくれた。今後も、大学や地元企業と協力しながら、まちづくりプロジェクトは進んでいく。

カメラ アイコン **フォトアラカルト**

問広報課区報係 (☎5722-9486、☎5722-8674)

8月18日に、東京工業大学の学生サークル「東工大Science Techno」が講師を務める工作教室が、緑が丘文化会館で行われました。この講座は、毎年行われ、子どもたちにとっても人気があります。今回は、オリジナルの偏光万華鏡を作りました。



東工大Science Techno代表 **竹本さん**

このサークルは、子どもたちに楽しむことを通して、科学に興味を持ってもらうことを目標に活動しています。今回の偏光万華鏡の仕組みは、少し難しいとは思いますが、理科や工作の楽しさを通じて、少しでも「どうしてだろう」と不思議に感じてほしいなと思っています。また、コミュニケーションも大切にされていて、教えながら、子どもたちと仲良くなれることも私たち学生の楽しみのひとつです。



Q 台風の日もいつもどおり資源やごみを出していいですか?



A 台風の接近や降雪などがあっても、原則資源・ごみの収集は行うよ。

収集時間が通常の時間と大きく変わることがあるから、ごみも資源も、必ず収集日当日の朝8時までに出してね(前日には出さないでね)。また、積雪や冠水による道路の通行止めや、災害が予測される状況など収集が出来ない場合は、区HPなどで随時お知らせするよ。

問清掃リサイクル課計画普及係
(☎5722-9883、☎5722-9573)

ごみに関するちょっとした疑問や質問をお寄せください

ハガキ・Eメールに、聞きたいこと、氏名(ニックネーム可)、年代を書いて、広報課区報係(〒153-8573目黒区役所〈住所不要〉、☎kohobosyu@city.meguro.tokyo.jp)へ。いただいた質問などから、ゴミラスが選んで回答します。

